

こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議

第1回
テーマ

2022年(令和4年)9月2日

「男性の仕事と育児の両立支援に 積極的に取り組む職場環境づくり」

講師：福島労働局雇用環境・均等室 室長補佐 齋藤 勝氏

事例発表：陸奥テックコンサルタント株式会社 山口 裕子氏



参加者の
声



男性の育休取得は、まだまだ取得しにくい環境。職場のみんなが育休取得を当たり前として協力する環境づくりが大事。

社内の理解と協力が不可欠であり、他社のみなさんも同じ課題を持たれているということを認識。今回得た知識を社内でも共有し、改善につなげたい。



あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、多種多様な団体が情報交換を行う「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」を令和4年度は2回開催しました。

第2回
テーマ

2023年(令和5年)1月26日

「多様な働き方の整備 ~LGBTについて~」

講師：福島大学 准教授 前川 直哉氏

プライドハウス東京レガシー運営チーム 理事 五十嵐 ゆり氏



参加者の
声



今までで一番難しい課題だと感じた。LGBTに限らず多様な働き方を模索して行き、個々の大切さをお互いに理解できる職場づくりが必要だと思った。

よく耳にし知っているつもりでいたLGBTについてまだまだ知らないことが多かったことを改めて実感。多様性を尊重し、皆が生きやすい環境にするためにも個人として出来ること、組織として出来ることなど考え、行動に移していかなければならないと思った。



政治分野における男女共同参画推進 講演会

2022年7月に発表されたジェンダー・ギャップ指数において、日本は146か国中116位(前回は156か国中120位)でした。前回と比べて、スコア、順位ともに、ほぼ横ばいとなっており、先進国の中で最低レベルの結果となりました。特に、経済と政治の分野における順位が低い結果となりました。

ジェンダー・ギャップ指数

世界経済フォーラムが発表している、各国における男女格差を測る指数。経済・教育・健康・政治の4つの分野のデータから作成されています。

分野	順位
経済	121位
教育	1位
健康	63位
政治	139位
総合	116位

2022年7月発表

現在、日本の女性議員は、国際的に見ても極めて少ない現状です。選挙で男女の候補者数をできる限り均等になることを目指す法律「政治分野における男女共同参画推進法」が2018年5月に成立しました。

上智大学教授の三浦まりさんを講師に迎え「なぜ、女性の政治参画が進まないのか」と題し、郡山市立郡山第三中学校において、講演会を開催しました。同校の中学二年生に向けて、日本の政治の現状や女性の政治参画の必要性についてお話をいただきました。

参加者からは、「政治に女性が参加することにとっても興味を持った。他人事として捉えず、自分も関係していることを考えながら生活していきたい」「女性の個人的なことを政治と関連して関心を持ちながら生活したいと思った」などの感想があり、政治に興味・関心を持っていただく機会とすることができました。



講師：三浦 まり さん

上智大学法学部 教授，
若手女性対象の政治リーダー養成を
手がける(一社)パリテ・アカデミー共
同代表。